

[業務部門の紹介と教育プログラムスケジュール]

◆血液浄化部門

「血液浄化療法はコミュニケーションが鍵」

JA 新潟厚生連は、11 病院全てで血液浄化療法を行っています。

血液浄化療法は腎不全疾患に対して人工透析療法、アフェリシス治療（持続緩徐式血液濾過透析、血漿成分領域における免疫吸着療法・血漿交換療法）などを行います。

治療には多職種との連携・患者様との信頼関係が大切です。

そのために、臨床工学技士は機器の準備・メンテナンスだけでなく、穿刺・透析中の患者観察・VA 管理・ダイアライザの選択・透析効率の評価など治療に関する安全管理を行い、業務に必要な技術・知識の習得を目指します。コミュニケーションを大切に患者様それぞれに最適な治療・よりよい治療を提供できるよう日々努めています。

臨床工学技士 新人教育プログラム スケジュール 【血液浄化分野】

研修項目		研修内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
I. 社会人として必要な基本姿勢と態度	厚生連の基本理念	本部オリエンテーション													
	病院の基本理念	入職時オリエンテーション													
II. 臨床工学技士として必要な基本姿勢と態度	臨床工学技士の基本理念・基本方針	厚生連臨床工学技士会		春季研修会				秋季研修会							
		透析 (HDF含む)													
III. 技術的・知識的側面	血液浄化療法	VA													
		VAエコー													
		透析液													
		薬剤													
		血管造影・PTA													
	特殊血液浄化	持続的腎代替療法													
		血液吸着													
		血漿吸着													
		血球吸着													
		血漿交換													
	腹水濾過濃縮再静注法														
	管理	清潔													
		感染													
メンテナンス															
災害															
コスト															
	水質管理														
IV. 管理的側面	救命救急処置	日本救急医学会認定ICLSコース													
	情報管理	入職時オリエンテーション													
	災害防災管理	入職時オリエンテーション													
	診療報酬に関して	職場オリエンテーション													
	自己啓発														
V. フォローアップ															
											1年の振り返りと評価・次年度技士会での報告発表				

◆循環器業務部門

「命を支える技術：循環器業務における臨床工学技士の使命」

新潟県厚生連の臨床工学技士は、循環器業務において専門的なスキルを発揮します。

心血管カテーテル治療、不整脈治療、ペースメーカー業務など、高度な医療技術を駆使し、医師との協力を通じて患者に最適な治療を提供します。患者の健康と生命にかかわる重要な役割を果たす中で、機器の適切な取り扱いやデータの正確なモニタリングが求められます。

臨床工学技士としての専門性を発展させ、新たな医療の道を切り拓く仕事に興味がある方、ぜひ私たちと一緒に活動しませんか？

研修項目		研修内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
III.技術的・知識的側面	感染対策	基礎知識、技術、対応など														
		清潔														
	検査	冠動脈造影検査														
		左室造影検査														
		冠血流予備量比														
		右心カテーテル														
		電気生理学的検査														
		心筋生検														
	治療	経皮的冠動脈形成術														
		血管内超音波検査														
		末梢血管カテーテル治療														
		CROSSER/ロータブレーター														
		心臓穿孔														
		下大静脈フィルター														
	補助循環	血栓吸引														
		大動脈バルーンパンピング														
	不整脈治療	治療	経皮的心臓補助装置													
			モニタリング機器													
		ペースメーカー	除細動器													
			体外式ペースメーカー													
ペースメーカー植え込み術																
植え込み型ループレコーダー																
アブレーション	ペースメーカー管理															
	基礎															
	ラボシステム															
救命救急処置	心肺蘇生法のコース受講（開催母体問わず）	スティムレーター														
		マッピング														
V.フォローアップ														1年の振り返りと評価・次年度技士会での報告発表		

◆手術室業務部門

「安全で確実な手術実施の為の支援業務と医療機器管理」

現代の医療において医療機器は必要不可欠な存在となっています。特に手術室では麻酔器や生体情報モニタ、内視鏡外科システム、手術ナビゲーションシステム、手術用顕微鏡など様々な高度医療機器が多く存在しています。

臨床工学技士は、それらが適切に使用され手術が円滑に実施できるように医療機器の始業前点検や準備、操作などの支援業務を担っています。

また、近年ではタスクシェア/シフトの一環として、外科的内視鏡手術の際のスコープオペレータなどの業務に携わることで業務の拡充を図っております。

その為、手術領域では臨床工学技士が欠かせない存在となっています。

他の手術スタッフと共にチームの一員として知識や技術を習得することで安心・安全な医療の提供に努めています。

臨床工学技士 新人教育プログラム スケジュール 【手術室分野】

研修項目		研修内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I. 社会人として必要な基本姿勢と態度	厚生連の基本理念	本部オリエンテーション												
	病院の基本理念	入職時オリエンテーション												
II. 臨床工学技士として必要な基本姿勢と態度	臨床工学技士の基本理念・基本方針	厚生連臨床工学技士会		春季研修会					秋季研修会					
	III. 技術的・知識的側面	手術室臨床業務	手術室ME機器	麻酔器										
生体情報モニタ														
電気メス														
超音波凝固切開装置														
血管シーリング装置														
内視鏡システム														
整形調節鏡システム														
手術用顕微鏡														
眼科手術装置														
赤外線観察カメラシステム：PDE														
ナビゲーション手術														
手術支援業務		清潔野・清潔操作												
スコープオペレータ														
手術室管理業務	医療安全	手術室電気設備												
		手術室医療ガス												
		ME機器												
		感染対策												
		災害対策												
記録	画像記録													
IV. 管理的側面	救急救命処置	心肺蘇生法のコース受講												
	情報管理	入職時オリエンテーション												
	災害防災管理	入職時オリエンテーション												
	診療報酬に関して	職場オリエンテーション												
	自己啓発													
V. フォローアップ														
												1年の振り返りと評価・次年度技士会での報告発表		

◆医療機器管理分野

「患者様へ安全で安心できる医療の提供を」

医療機器管理業務は患者様の安全を確保するために非常に重要な業務です。

臨床工学技士が機器の適切な管理を行うことで、正確な機能性を維持し、患者様へのリスクを最小限に抑えることができます。

医療機器管理業務は現代の医療において機器の予防保全（メンテナンス業務）、効率性、コスト削減、高品質な医療サービスを提供するうえで必要不可欠な管理プロセスとなっています。

J A新潟県厚生連では人工呼吸器、透析装置、輸液・シリンジポンプ、生体監視装置などのメンテナンス講習を受講することができ、日々研鑽を積みながら患者様の安全に貢献しています。

臨床工学技士 新人教育プログラム スケジュール 【医療機器管理分野】

研修項目	研修内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I. 社会人として必要な基本姿勢と態度	厚生連の基本理念	本部オリエンテーション											
	病院の基本理念	入職時オリエンテーション											
II. 臨床工学技士として必要な基本姿勢と態度	臨床工学技士の基本理念・基本方針	厚生連臨床工学技士会											
		春季研修会						秋季研修会					
III. 技術的・知識的側面	人工呼吸器	動作原理・仕組み理解											
		各モード理解											
		使用前点検											
		使用中点検											
		アラーム対応											
		搬送対応											
	輸液ポンプ	動作原理・仕組み理解											
		使用薬剤の理解											
		使用前点検											
		アラーム対応											
	シリンジポンプ	動作原理・仕組み理解											
		使用薬剤の理解											
		使用前点検											
	医療機器管理システム	システム理解											
		貸出・返却											
		機器登録・廃棄											
	除細動器	点検項目作成											
		動作原理・仕組み理解											
		使用後点検											
		定期点検											
		アラーム対応											
		日常点検 (AED)											
	電気メス	使用後点検 (AED)											
		アラーム対応 (AED)											
動作原理・仕組み理解													
使用前点検													
IV. 臨床的側面	内視鏡	使用後点検											
		定期点検											
		動作原理・仕組み理解											
	保育器	使用後点検											
		定期点検											
		アラーム対応											
	メラサキウム	原理・構造の理解											
		動作の理解											
		使用前点検											
	生体情報モニタ	使用後点検											
		定期点検											
		原理・構造・仕組みの理解											
感染対策	動作の理解												
	使用中点検・注意点												
	トラブルシューティング												
清潔	知識・技術・対応												
V. フォローアップ												1年の振り返りと評価・次年度技士会での報告発表表	

IV. 臨床的側面	内視鏡	動作原理・仕組み理解											
		使用前点検											
		定期点検											
	保育器	動作原理・仕組み理解											
		使用後点検											
		定期点検											
	メラサキウム	アラーム対応											
		原理・構造の理解											
		動作の理解											
	生体情報モニタ	使用前点検											
		使用後点検											
		定期点検											
感染対策	原理・構造・仕組みの理解												
	動作の理解												
	使用中点検・注意点												
清潔	トラブルシューティング												
V. フォローアップ	知識・技術・対応												
												1年の振り返りと評価・次年度技士会での報告発表表	